1808
2010・12/10

大阪教育

昭和29年２月16日第三種郵便物認可／毎月10日発行／1部30円（組合員は組合費に含む）／発行・大阪教職員組合・〒543-0021　大阪市天王寺区東高津町7-11・大阪府教育会館7F／TEL　6768-2330／FAX　6768-2239／daikyoso@daikyoso.jp
編集発行人・田中康寛／印刷・関西共同印刷所

府労組連学習決起集会

日時　12月22日（水）18時45分開会
場所　エルおおさか大ホール
講演「橋下維新を斬る」
二宮厚美さん（神戸大学教授）

府労組連
秋季年末闘争

今季闘争終結せず 給与改悪撤回へ

一時金 0・2月削減、4%カット強行に抗議

1月 山場へ たたかいの強化を

府労組連は、この間一時金の削減と給与制度改悪・賃金カット延長提案の撤回、評価制度の賃金リンク撤回などをめざし、署名、府民宣伝、決起集会、団体交渉など行い当局に要求実現を迫りました。しかし、11月12日の最終回答が、一時金「0・2月削減、4%カット」を譲らないなどきわめて不当な内容となるなか、「回答は承諾できない」ことを表明、今後も闘争を継続し給与改悪案撤回に全力をあげようと呼びかけています。

道理のない当局提案を厳しく追及

当面の焦点となった一時金0・2月削減と4%カット問題では、①一時金カットはすでに6年間も続いており、カット後の金額で比較すれば0・2月削減の必要がないこと、②この間の一時金カットは総額410億円に上る一方、府財政は昨年度で311億円、今年度は240億円（見込み）の黒字となっていることなど、論点を明確にして厳しく追及しました。

しかし、当局の「最終回答」は、諸要求にことごとく背を向けたまま不当にも一時金削減を強行。そのため今季一時金は、2・0月分（平均）を4%カットでの支給（12月10日）となりました。

給与制度改悪・カット3年延長の強行許さず継続交渉に

給与水準を大きく低下させ、多い人では月額5万円以上の減額となる給与制度の改悪（教育職除く行政・現業職など）と14年間にも及ぶ人件費抑制を行いながら、さらに3年間もの給与・一時金カットの延長提案に怒りが大きく広がっています。

府労組連・大教組は、この間「人件費削減と府民施策切り捨てでは財政再建はできない」「財政を困難にした不要不急のムダな大型開発の見直しこそ急務」と指摘し、人件費カットの不当性を徹底的に追及。全教職員署名、決起集会、府民宣伝の強化、怒りの一言、知事宛抗議・要請ファックスの集中などを背景に撤回を迫るなか、11月末での強行を許さず継続交渉となり、事実上の越年闘争へと追い込みました。

職場と府民共同、全国支援要請などたたかい強化へ

府労組連・大教組は、引き続き府民宣伝にとりくむとともに、今後も折衝・交渉の強化、再度の教職員署名など、職場からのとりくみを全力ですすめます。

また、全国的な大阪府への要請行動、12月22日の府民学習決起集会、1月19日には府民団体・民間労組とも共同した府庁包囲行動・決起集会などを行い、不当な給与制度改悪・賃金カット3年延長提案の撤回、評価制度の賃金リンク撤回をめざすたたかいに最後まで全力を挙げます。

今季闘争における主な当局回答（11月12日）

■義務教育等教員特別手当の縮減
実施時期を「４月１日」に３ヶ月延期

■教員の長時間過密労働解消、勤務時間管理
府労組連の意見を聞きながらプロジェクトチームにおいて、６月分の結果も踏まえつつ、教職員の業務負担軽減に向けた具体的な方策を検討し、子どもたちと向き合う時間の確保に努める

■介護のために退職した教員の再採用
年度内の制度創設に向け、取り扱いの詳細について検討中であり、年内を目途に示したい

■月60時間の時間外勤務の積算基礎に日曜日等の勤務を含める

■介護のための早出遅出勤務の検討

湧水

先日参加した「教育のつどい」で、憲法を全面にすえた教育活動の報告があり、取り組みのかまえの大きさに驚き励まされた▼その一つは、「みんなが安心して過ごせる学校が先生たちの願いで、それは憲法9条の精神と同じである」と生徒たちに示し、何人もの先生と一緒に授業づくりをしている通信制単位高校での実践だ。「平和なことは良いことだと思わせてくれる先生たちがいるのはとても幸せなんだ」と生徒たちもその思いを綴っている▼中学校からは、困難校を立て直すために憲法をもとに生徒会会則を改定し、生徒会を中心にすえた実践が報告された。毎年平和集会が行われるようになり、平和をテーマにした報告や宣言が定着▼平和主義を学校生活に生かそうと、「トラブルを暴力で解決しない」など三つの項目をポスターで呼び掛けているという▼しかし今、こうした教職員の努力に背を向ける施策が続く。「このままでは結婚し、子育てをしていくことが難しくなります」「教師はやりがいのある仕事ですが、やりがいだけではできません」と大きな怒りが渦巻いている。怒りの声を早急に府民に届け、府政の転換に繋げなければならない。（K・K）